



医療法人社団井上会

# ひかり

第6号

新年号 R4年1月

令和4年 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、皆様には法人施設入館時の健康チェックや面会制限などで大変ご迷惑をおかけいたしました。幸いにも昨年一年間も、当法人の患者様・利用者様に新型コロナウイルス感染症の発症は認めず過ごすことができました。これも皆様のご協力のおかげだと深く感謝申し上げます。ただ残念ながらコロナ禍は新年になっても続いております。本年も職員一同、これまで以上に感染対策に力を注いでいく所存です。

また本年は昨年に引き続き、熊本光洋台病院および老健施設光乃里の建て替え計画を進めており、本年秋には着工を、さらに来年秋には竣工を目指しております。施設の建て替えを通じて皆様がより安全・安心に利用できる療養環境を整え、法人の基本方針である「地域に根差し、利用者様を第一に考えた医療・介護事業」を提供できるよう計画を進めて参ります。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

令和4年1月吉日

医療法人社団 井上会  
理事長 井上 明威

## 年頭の挨拶

熊本光洋台病院 病院長 木村 竜也

「最上の幸福は、一年の終わりにおいて、年頭における自己よりも良くなったと感ずることである」(トルストイ)。昨年もまたまさに「光陰矢の如し」、あっという間に過ぎ去ってしまった 365 日間で何か達成・向上があったでしょうか。私は“HARRY POTTER”全 7 巻を四苦八苦して読みました。きれいごとの児童書かと思いきや、喜怒哀楽の感情丸出しの普通の人々のリアルな愛憎劇の中で四苦八苦する HARRY の物語、いや皆それぞれに四苦八苦していて、自身と重なりしみじみ共感しました。

お釈迦様が「一切皆苦」すなわち人生は苦であると説かれたとおりこの世の人生に「四苦八苦」は付き物です。そもそも「四苦八苦」とは、生物として誰にも共通する「生老病死」の「四苦」と、生活するうえで誰でも遭遇する「愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦」を言います。「四苦八苦」に苦しむ大きな原因は「煩惱」であるから、それを滅却するために宇宙規模の智慧を持つことを勧めます・・・が、ちっぽけな人間には無理です。

「煩惱の犬は追えども去らず」、少し智慧をつけて一つ乗り越えても次々出てくる、一難去ってまた一難。「四苦八苦」と一生付き合うしかない諦めなければなりません。これを仏教では「四諦」(四つの諦め=四つの真理を明らかにすること)と言い、①「苦諦」人生は四苦八苦で、②「集諦」原因は煩惱と迷いだから、③「滅諦」原因を滅却すべく、④「道諦」正しい行いをしましょう・・・と。しかし④によって②を③にする「寂滅為樂」は永遠に達成できない努力目標だから①は一生続きます。だから④も一生続け、少しでも苦が軽減されるよう努力する。

ということは「四苦八苦」とは、いい意味で日々の暮らしに緊張感を与え目的意識を生むインセンティブであり努力をするモチベーションであると考えられます。だから「四苦八苦」をするということは、がんばるということ。今年もまた四苦八苦してもっと良くなりましょう。

とはいえ人の運命はお釈迦様の手掌の上。魔訶不可思議な因縁果律の中では「人事を尽くして天命を待つ」が、「捨てる神あれば拾う神あり」で、どっちに転んでもそれが「塞翁が馬」だったりするから、最終的には「南無阿弥陀仏」でお任せするしかないですが・・・。

この観点から人は皆「四苦八苦」の宿命に耐えて懸命にがんばっている同じ境遇の仲間だと思えることができれば、シンパシーを抱き相憐れみ慈しみ、労り励まし助け合い、相互感謝・相互尊重できるようになるかもしれません。

それはここで働く私達には絶対必要です。なぜなら私達が向き合うのは「四苦」の「老病死」の究極の段階にある方々だからです。健康を取り戻せない「求不得苦」、体が思うように動かない「五蘊盛苦」、家に帰れず他人と過ごす「怨憎会苦」もあり、そして永遠の別れの「愛別離苦」が・・・。

“HARRY POTTER”にも「四苦八苦」が全て出てきます。私がいじみ共感したのはそのためでもあるでしょう。ここで共にがんばる皆様におかれましても、この、学校では習わない、教科書には載っていない、けれども実は一番大事なことを、もしまだでしたら、是非とも心に刻んでいただきたいと思います。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 2022 年を迎えて

看護部長 入来恵智子

コロナ禍で先が見通せなかったり、出口が見えない状況が続いた 2021 年。年末にようやく落ち着きを取り戻してきたかのように見えたのもつかの間、オミクロン株が広がりを見せています。国産のワクチン承認や新たな治療薬等、明るい兆しもみえてきているようですが、2022 年ほどのような一年になるのでしょうか。

地上の理を知る暦の干支では、2022 年は「壬寅（みずのえ・とら）」です。干支にはそれぞれ意味があり「壬寅」は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということらしいです。

「壬」は“水の気”で【学び】や【習得】を象徴しており、どんなことでも未知の事を知ろうとする姿勢が開運に繋がるそうです。

水は器によって形を変えることができます。それと同じように自分の器を自由自在に変え、色々なことを学び吸収することで、思考が柔軟になったり、多様性を知るきっかけになったり、アイデアのヒントを得たりすることができると思います。

さらに天の暦の「二十八宿」では、2022 年は「参宿（しんしゅく）」にあたり、これまでの常識に囚われない発想力で物事を作り替えていく「改革の年」になるそうです。

58 歳の時、私は社会福祉の通信大学に編入し、スクリーニングでグループワークを何度も行いましたが、学生の年齢は 20 歳台から 70 歳代まで、職業は主婦から看護師と様々と経験もが全く異なる人達と同じテーマで会話する中で、自分とまったく違う発想や気づきに「目からウロコ」だったのと、そのような場を持てたことを嬉しいと感じました。

年齢を重ねると、これまでのやり方や経験に固執しそうになることもありますが、様々な事を柔軟に受け入れ学び、できればそこに身を置くことが自己の成長になると思います。

一人一人の職員も、互いに学びあい良い影響を与えられるような好循環が生まれることで、患者さんや利用者の方やご家族の方に満足していただける看護・介護を提供できると考えます。「言うは易し、行ふは難し」ですが、一歩ずつ歩みをすすめていけたらと思います。

## 光乃里だより

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は新型コロナウイルスの大流行に大変惑わされ、全ての行動が制限された年でした。

熊本では幸いなことに、新規感染者ゼロの日が一か月以上続いたこともありましたが、昨年末にオミクロン株が福岡で確認され、予断を許さない事態となってきました。

光洋台病院・光乃里におきましても、全職員が一丸となり患者様・入所者様の安全を第一に、心して職務に励まれるよう願っております。

今年も、皆様にとりまして幸多い年になりますよう心から願っております。

令和4年吉日 施設長：吉成元希

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、新型コロナウイルスの影響を受ける中で、面会制限、感染症対策の取り組みにご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の収束までは、まだ時間を要するものと思われます。引き続き職員一丸となって対策を講じてまいりますので、皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

2022年は壬虎。厳し冬を乗り越えて新たな成長に向けて動き出す年と言われています。新型コロナウイルス感染症が収束し、マスクが外れ、また入所者様、御家族様が笑顔で声を出して笑いあえる、新しい日常が「始まる」年になること、また、今年一年が皆様にとって素晴らしい一年となる様、心よりお祈り申し上げます。

看護・介護職員一同



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

今年も引き続き、ご利用者様の心身機能の維持向上を目標とし、個人に合ったリハビリを提供していきます。

歩行訓練や、下肢の筋カトレーニング、以前紹介しました漢字バズルやカラオケ、音楽鑑賞など、ご利用者様にとってリハビリの時間が、楽しく有意義なものになるよう、今年も精進して参ります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

リハビリスタッフ一同

新年あけましておめでとうございます。

栄養部では、毎日昼食時にメニューカードの配布や、毎月のお誕生日会の日には、ちらし寿司や手作りケーキ等を提供して、入所者様から喜びの声を頂いております。本年も、入所者様 1 人 1 人の状態に応じた食事を提供し、満足していただけるような食事の提供を行ってまいります。

本年も宜しくお願い申し上げます。

栄養課一同



新年あけましておめでとうございます。

ご利用者ならびにご家族の皆さまにおかれましては健やかに新春を迎えられましたことと心よりお喜び申し上げます。

本年度も光乃里では利用者様が笑顔で過ごされることを第一に考えケアマネジャー・支援相談員と一丸となりサービスを提供させていただきます。

ご家族の方もお気軽にお声かけ下さい。

今年も宜しくお願い申し上げます。

介護支援専門員・相談員一同

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、2021 年を振り返りますと新型コロナウイルスに影響された 1 年でした。コロナウイルスの影響により、施設でのイベントも中止や各階での開催等に変更し、入居者様にとっては少し寂しいイベントごとになったかもしれません。そういった中でも、イベント時には入居者様、職員の笑顔や笑い声がありました。

本年もより充実した生活を送っていただけるよう安全で質の高い医療・介護を提供できるよう職員一同精進していきたく思います。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

事務職員一同



医療法人社団 井上会

〒861-4211

熊本市南区城南町今吉野 1020

熊本光洋台病院 ☎：0964-28-6000

介護老人保健施設「光乃里」☎：0964-28-8000

グループホーム「みんなの光」☎：0964-28-7800

URL : <http://inouekai.com/>



## みんなの光たより



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年中は新型コロナウイルスの様々な影響を受ける中で、面会制限等、感染症対策の取り組みにご協力いただきまして、心から感謝申し上げます。面会制限につきましては未だ解除めどが立たず、継続とさせて頂きたく存じます。静かな新年の幕開けとなっておりますが、皆様に喜んでいただける取り組みを進めるとともに、ご入居様の皆様に安心して過ごしていただけますよう感染防止対策をすすめてまいります。

さて、認知症介護は3大介護と言われるケア中心を中心としていく時代から大きく変わってきています。一人の生活全体を見ながら、可能性、人間性指向のケアを行うことがこれからの認知症のケアであると思っております。

- ・その人らしいあり方
- ・その人の安心と快
- ・暮らしの中での心身の力の発揮
- ・その人にとっての安全・健やかさ
- ・なじみの暮らしの継続

この様な視点でケアの実践を職員一同一丸となって邁進してまいります。今年もどうぞよろしくお願い致します。



令和4年1月 みんなの光